

I 実践

1 本校の人権教育実践の目標

差別や偏見によって起こる問題を自らの問題としてとらえ、一人一人が互いに人権尊重の心を持ち、差別や偏見をなくそうとする態度を育てる。

2 本校の人権教育における努力点

○人間としての生き方についての自覚の向上を図る。

- ・授業研究の推進
- ・一人一人が尊重される学級づくり
- ・ボランティア活動の推進

○差別や偏見を直視し、正しい判断力の育成に努める。

- ・自他の良さに気づかせる場の設定と言葉かけの工夫

3 実践内容

(1) 人間としての生き方について自覚の向上を図る

① 授業研究の推進

学級が「共に学びあう学習集団」となるように、各教科において学びあいの活動や自分の意見を言いやすい環境作りを工夫し、生徒が有用感や成就感を得られるようにした。

② 一人一人が尊重される学級づくり

学級内のだれもが所属感や自己有用感を感じる事の出来る教室掲示を、各学級で推進している。



③ ボランティア活動の推進

ア. 宿泊をとまなう学習活動

宿泊をとまなう学習活動では、共同生活において他者と協力することや支えあうことの大切さを感じる事ができるよう、班の役割に責任をもたせようとした。また足尾銅山では、後世のために植樹を行っている人々の姿から、奉仕の尊さを感じていた。

イ. 地域との連携

全校生徒がボランティア活動として、近くを流れる十王川のゴミ拾いを行った。また、豊浦地区での防災訓練では体育館に簡易宿泊所をつくり、災害時の「共助」を学んだ。教職員も夏季休業中に用水路の掃除を行い、地域との相互協力の必要性を再確認した。

(2) 差別や偏見を直視し、正しい判断力の育成に努める

① 授業研究の推進

社会科の学習においては、その特性を生かし、人権意識を高めるべく以下にあげる人権にかかわる学習の充実を図った。

公民…基本的人権の尊重、平等権の学習では差別問題などを学び、差別や偏見をなくしていかなければいけないことを確認した。

歴史…江戸時代の身分制度や明治の国内外での差別・偏見について確認する中で、その根深さと現在とのつながりを学んだ。

② 自他の良さに気づかせる場の設定と言葉かけの工夫

ア. あいさつ

本校では学校グランドデザインの重点目標としてあいさつの徹底を設定した。その一環として毎学期に約一か月間のあいさつ運動を実施している。学級単位で朝の昇降口に立ち、元気なあいさつをすることで、あいさつの輪を広げている。また、小学校前でのあいさつ運動を実施し、小学生に気持ちのいいあいさつを行った。学校全体では、生徒が「ありがとう」や「お願いします」を自然と言えるよう指導を行っており、ねぎらいや気遣いあふれる学校を目指している。

イ. メッセージカード

学校行事で企画や準備を行った実行委員や、大会を控えた部活動の生徒に対して、メッセージカードの作成を行い、廊下に掲示している。誰もが誰かの役に立っていることや、応援してくれる人がいることを生徒が感じる場となっている。



ウ. 賞賛状

本校では家庭学習のノートが1冊終わるごとに「努力を讃える賞賛状」を発行し、校長から生徒に手渡しされる。内容や時間、成績に関係なく、平等に表彰の機会を設けることで、生徒の成就感や自己肯定感の高まりを図っている。また、思いやりのある行動を認める「心を讃える賞賛状」を発行し褒められる場面を増やしている。

Ⅱ 成果

- ・ 学校では気持ちの良いあいさつが毎日聞こえ、より良い人間関係の基盤となっている。来校者や地域の方からもあいさつを褒められることがあり、誰に対しても元気なあいさつができる生徒が増えている。また、地域の方との元気なあいさつを交わすことで、地域の一員として所属感を高め、人としての生き方を自覚することにつながった。
- ・ メッセージカードや各賞賛状の取り組みは生徒の自己肯定感を向上させるだけではなく、他者を認めるきっかけづくりとなっている。人の良いところを素直に讃え、互いに認め合う雰囲気が高められた。
- ・ 植樹活動ではボランティア団体の人々があと100年とはかかると言いながら、後世のために豊かな緑を残そうとしている姿を見て、奉仕の心の尊さを感じていた。また、十王川清掃では清掃活動を通して地域を大切にしていこうとする態度が養われた

Ⅲ 今後の課題

- 一人一人が互いに人権尊重の心を持ち、差別や偏見をなくそうとする態度を育てるためには、教師が率先して人権課題に取り組み、人権意識をもって指導にあたる必要がある。そのためにも人権教育実践事例や各学級掲示の紹介などの研修を充実させ、教職員の人権に対する共通意識・理解を図っていききたい。
- 賞賛状の発行については引き続き学校全体で生徒が認められる場面を意図的に増やしているが、学級においても特別活動や授業の中で互いを認め合い、人権を守っていこうとする生徒の育成を図っていききたい。